

晃, 平田 文, 落合勇人, 原 毅, 浦野友彦: 呼吸器内科患者におけるサルコペニア有病率と嚥下機能と低栄養の関係. 第 62 回日本老年医学会学術集会, 東京 (Web 開催), 2020. 8. 4-9. 17, 日本老年医学会雑誌 57 Suppl.: 106, 2020.

- 15) 日吉 巧, 土門久哲, 前川知樹, 田村 光, 米澤大輔, 國友栄治, 寺尾 豊, 多部田康一: マウス歯牙結紮歯周炎モデルにおけるヒノキチオールの骨吸収抑制作用の解析. 第 63 回春季日本歯周病学会学術大会, 郡山 (Web 開催), 2020. 7. 13-31, 日歯周誌, 62 春季特別: 133, 2020.
- 16) 松岸 葵, 野中由香莉, 竹内麻衣, 原 実生, 早津 学, 三上剛和, 牛木辰男, 土門久哲, 山崎和久, 多部田康一: コメペプチドとそのアミノ酸置換体は *Porphyromonas gingivalis*, *Fusobacterium nucleatum* のバイオフィルム形成を阻害する. 第 63 回春季日本歯周病学会学術大会, 郡山 (Web 開催), 2020. 7. 13-31, 日歯周誌, 62 春季特別: 133, 2020.
- 17) 山田 茜, 川崎真依子, 川崎勝盛, 工藤武久, 目黒史也, 高木律男, 大峽 淳: エナメル形成における NF- κ B の機能解析. 令和 2 年度新潟歯学会総会および第 1 回例会, 新潟, 2020. 7. 4, 新潟歯学会雑誌, 50(2): 103, 2020.
- 18) 松岸 葵, 野中由香莉, 竹内麻衣, 原 実生, 土門久哲, 寺尾 豊, 山崎和久, 多部田康一: コメ由来ペプチドのアミノ酸置換体による歯周病原細菌のバイオフィルム阻害作用の解析. 令和 2 年度新潟歯学会総会および第 1 回例会, 新潟, 2020. 7. 4, 新潟歯学会雑誌, 50(2): 104-105, 2020.
- 19) 小松彩夏, 岸川映史, 飯田和泉, 照沼美穂: アンモニアはアストロサイトにおいてアミロイド β の産生を誘導する. 令和 2 年度新潟歯学会総会および第 1 回例会, 新潟, 2020. 7. 4, 新潟歯学会雑誌, 50(2): 110-111, 2020.
- 20) 山崎恭子, 中島麻由佳, 竹内麻衣, 原 実生, 都野隆博, 松岸 葵, 松川由実, 佐藤圭祐, 高橋直紀, 多部田康一, 坪井裕理, 菊池 淳, 加藤 完, 大野博司, 山崎和久: 腸内細菌叢の変動を介した歯周病の NAFLD への影響. 第 24 回腸内細菌学会, 札幌 (誌上開催), 2020. 6. 11-12, 腸内細菌学雑誌 34(2): 135, 2020.
- 21) 都野隆博, 高橋直紀, 峰尾修平, 原 実生, 野中由香莉, 多部田康一: 歯肉上皮細胞に発現する TRPV1 活性化による抗炎症作用の解析. 第 152 回日本歯科保存学会 2020 年度春季学術大会, 神戸 (誌上開催), 2020. 6. 11-12, プログラムおよび講演抄録集 152 回: 145, 2020.

【受賞】

- 1) Maekawa T: The correlation of ectopic calcification signatures in the ageing eye and cardiovascular system. Interstellar Initiative, Healthy Longevity Award, AMED and The New York Academy of Science. 2021. 2. 27.
- 2) 前川知樹: 内因性抗炎症分子 DEL-1 誘導における歯周病治療法の基盤研究. 令和 2 年度日本歯周病学会学術賞. 2020 年 10 月 16 日.
- 3) 原 実生: A bacterial metabolite ameliorates periodontal pathogen-induced gingival epithelial barrier disruption via GPR40 signaling. 2019 年度日本歯周病学会奨励賞, 第 63 回春季日本歯周病学会学術大会, 郡山 (Web 開催), 2020 年 7 月 13-31 日.
- 4) 前川知樹: 内因性抗炎症分子の再誘導による炎症性疾患治療法の基盤研究. 令和 2 年度科学技術分野文部科学大臣表彰 若手科学者賞. 2020 年 4 月 7 日.

口腔生命福祉学科

【著書】

- 1) 葭原明弘ほか: デンタルスタッフの口腔衛生学 (泉福英信ほか編), 142-155 頁, 医歯薬出版, 東京, 2020.
- 2) 中村健ほか: 吉永純編著: 生活保護の各扶助. よくわかる生活保護ガイドブック 1 Q&A 生活保護手帳の読み方・使い方 第 2 版, 94 頁から 97 頁, 104 頁から 120 頁, 133 頁から 135 頁, 146 頁から 148 頁, 明石書店, 東京, 2020.
- 3) 中村健ほか: 全国公的扶助研究会季刊公的扶助研究編集委員会編集: 福祉事務所のこれからを考える. 季刊公的扶助研究 第 257 号, 16 頁から 17 頁, 萌文社, 東京, 2020.
- 4) 中村健ほか: 全国公的扶助研究会季刊公的扶助研究編集委員会編集: 新潟県内の生活福祉資金貸付状況. 季刊公的扶助研究 第 259 号, 26 頁から 27 頁, 萌文社, 東京, 2020.
- 5) 山崎和久: ヒトマイクロバイオーム第 2 巻 (服部正平監修) 第 5 編腸管以外のマイクロバイオームの生態と機能 第 1 章口腔マイクロバイオームの生態と機能 第 2 節口腸連関を基盤とした歯周病と全身疾患の関連—マウスモデルによる解析— 421-432 ページ 株式会社エヌ・ティー・エス, 東京, 2020.
- 6) 山崎和久・山崎恭子: ヒト常在菌叢と生理機能・全身疾患 (落合邦康監修) 【第 I 編 総論】第 4 章口腔細菌の腸内細菌叢への影響 30-41 ページ シーエムシー出版, 東京, 2020.

【論文】

- 1) Yoshihara A, Suwama K, Miyamoto A, Watanabe R, Ogawa H: The relationship between sucrose intake in coffee or tea, and root or coronal caries in an elderly Japanese population. *Community Dental Health* 37(3):185-189, 2020.
- 2) NCD Risk Factor Collaboration (NCD-RisC, Yoshihara A et al) - Americas Working Group. Trends in cardiometabolic risk factors in the Americas between 1980 and 2014: a pooled analysis of population-based surveys. *The Lancet Glob Health* 8(1):e123-e133, 2020.
- 3) NCD Risk Factor Collaboration (NCD-RisC, Yoshihara A et al): Repositioning of the global epicentre of non-optimal cholesterol, *Nature* 582(7810): 73-77, 2020.
- 4) NCD Risk Factor Collaboration (NCD-RisC, Yoshihara A et al). National trends in total cholesterol obscure heterogeneous changes in HDL and non-HDL cholesterol and total-to-HDL cholesterol ratio: a pooled analysis of 458 population-based studies in Asian and Western countries. *Int J Epidemiol* 49(1):173-192, 2020.
- 5) NCD Risk Factor Collaboration (NCD-RisC, Yoshihara A et al): Height and body-mass index trajectories of school-aged children and adolescents from 1985 to 2019 in 200 countries: Pooled analysis of 2,182 population-based studies with 65 million participants. *The Lancet* 396: 1511-24, 2020.
- 6) Nomura Y, Kakuta E, Kaneko N, Nohno K, Yoshihara A, Hanada N: The Oral Microbiome of Healthy Japanese People at the Age of 90. *Applied Sciences* 10 (18): 6450, 2020.
- 7) Takamisawa K, Sugita N, Komatsu S, Wakasugi M, Yokoseki A, Yoshihara A, Kobayashi T, Nakamura K, Onodera O, Momotsu T, Endo N, Sato K, Narita I, Yoshie H, Tabeta K: Association between serum IgG antibody titers against *Porphyromonas gingivalis* and liver enzyme levels: A cross-sectional study in Sado Island, *Heliyon* e05515, 2020.
- 8) Sato K, Stegaroiu R, Shibata S, Kurokawa K: General and oral health factors associated with physical disability, cognitive impairment, and diet form in an elderly institutionalized Japanese population. *Niigata Dent J* 50(2):23-31, 2020.
- 9) Sunada Y, Magara J, Tsujimura T, Ono K, Inoue M: Endurance measurement of hyoid muscle activity and hyoid-laryngeal position during tongue lift movement. *J Oral Rehabil* 47(8): 967-976, 2020.
- 10) Edanami N, Yoshida K, Shirakashi M, Ibn Belal RS, Yoshida N, Ohkura N, Tohma A, Takeuchi R, Okiji T, Noiri Y: Impact of remnant healthy pulp and apical tissue on outcomes after simulated regenerative endodontic procedure in rat molars. *Scientific Reports* 10(1): 20967, 2020.
- 11) Miyazawa H, Nakajima T, Horimizu M, Okuda K, Sugita N, Yamazaki K, Li L, Hayashi-Okada Y, Arita T, Nishimoto M, Nishida M, Genco RJ, Yamazaki K. Impact of local drug delivery of minocycline on the subgingival microbiota during supportive periodontal therapy: Randomized controlled pilot study. *Dent J.* 8: 123, 2020.
- 12) Sulijaya B, Takahashi N, Yamazaki K. Lactobacillus-derived bioactive metabolites for the regulation of periodontal health: Evidences to clinical setting. *Molecules.* 25: 2088, 2020.
- 13) Yamazaki K, Sato K, Tsuzuno T, Sulijaya B, Mashima I, Kawamura Y, Yamazaki K. Orally administered pathobionts and commensals have comparable and innocuous systemic effects on germ-free mice. *Microb Pathogen.* 140: 103962, 2020.
- 14) 中野恵美子, 吉田直樹, 葭原明弘: てんかんの食事療法が小児の口腔健康状態に及ぼす影響の検討, *口腔衛生会誌* 70: 35-43, 2020.
- 15) 小野和宏, 松下佳代, 斎藤有吾: PBL カリキュラムによる長期的な学習成果の直接評価—新潟大学歯学部でのパフォーマンス評価の縦断研究にもとづいて—. *京都大学高等教育研究* 26: 1-12, 2020.
- 16) 丹原惇, 斎藤有吾, 松下佳代, 小野和宏, 秋葉陽介, 西山秀昌: 論証モデルを用いたアカデミック・ライティングの授業デザインの有効性. *大学教育学会* 42(1): 125-134, 2020.
- 17) 吉羽邦彦: 歯髄保存療法への MTA の応用と歯髄創傷治癒・修復象牙質形成機構. *新潟歯学会雑誌* 50(2): 39-46, 2020.
- 18) 山崎和久. ロ-腸連関を基盤とした歯周病と全身疾患の関連メカニズム. *日本未病学会雑誌* 26 (1): 38-42, 2020.
- 19) 山崎和久. ロ-腸連関を基盤とした歯周病と全身疾患の関連メカニズム. *日本未病学会雑誌* 26 (1): 38-42, 2020.

【商業誌】

- 1) 山崎和久, 山崎恭子: 歯周病と腸内細菌—生活習慣病への関わり. *糖尿病プラクティス* 37巻5号 543-550, 2020.

【研究費獲得】

- 1) 柴田 佐都子, Stegaroiu Roxana, 池田 吉史, 大内章嗣: 知的障害者向け口腔保健支援プログラムの開発, 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 基盤研究(C), 課題番号 18K09875, 2020.
- 2) 諏訪間加奈: アルコール摂取が歯周病に与え

る影響および他栄養素を含む包括的環境要因の
解明. 日本学術振興会科学研究費基金, 若手研
究 (B), 17K17367, 2020.

- 3) 米澤大輔, 葭原明弘, 堀一浩: 高齢者における低栄
養防止の新戦略ー義歯指導に併せたテーラーメイド
栄養指導法構築ー. 日本学術振興会 科学研究費助
成事業 基盤研究(C), 20K10290, 2020.
- 4) 葭原明弘, 成田一衛, 宮崎秀夫, 杉田典子: 歯周組
織および口蓋扁桃の病態からみた慢性腎臓病に対す
る多角的発症メカニズムの解明: 日本学術振興会科
学研究補助金, 基盤研究(B), 18H03013, 2020.
- 5) 成田一衛, 葭原明弘 (分担): 腎性老化現象における
粘膜免疫の役割: 日本学術振興会科学研究補助金,
基盤研究(B), 19H03674H, 2020.
- 6) Stegaroiu Roxana, 荒井良明, 黒川孝一, 田中茂雄: 骨梁
三次元有限要素モデルの応力からインプラント過重
負担と辺縁骨吸収との関連を探る, 日本学術振興会科
学研究費補助金研究、基盤研究(C), 課題番号
20K10031, 2020.
- 7) 松下佳代, 小野和宏 (分担), 深堀聡子, 斎藤有吾,
丹原惇, 石井英真: 分野固有性と汎用性の関係に着
目した知識・能力 (スキル) の形成と評価. 日本学術
振興会科学研究補助金 基盤研究(B), 18H00975, 2020.
- 8) 葭原明弘: おとなのデンタルヘルスサポート事業にお
けるデータ分析, 新潟県受託研究, 2020.
- 9) 入江一元, 細矢明宏, 吉羽邦彦, 建部廣明: フェイト
マッピングによる象牙芽細胞分化因子の解明と象牙
質再生療法への応用. 日本学術振興会学術研究助成基
金助成金 基盤研究 (C) 18K09641, 2020.
- 10) 吉羽永子, 吉羽邦彦, 大倉直人, 枝並直樹: ヒト歯
髓の創傷治癒過程における M2 マクロファージとシ
ュワン細胞の相互作用の解明. 日本学術振興会学術研
究助成基金助成金 基盤研究 (C) 19K10146, 2020.
- 11) 細矢明宏, 建部廣明, 吉羽邦彦, 入江一元: 蛍光標
識した歯根膜幹細胞による骨芽細胞分化誘導法の確
立. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤
研究 (C) 19K10171, 2020.
- 12) 小田島あゆ子: 高齢者における頭頸部の機能維持によ
る平衡機能低下の抑制効果. 日本学術振興会学術研
究助成基金助成金 若手研究, 19K19327, 2020.
- 13) 隅田好美, 小田島あゆ子 (分担): 「社会参加」を促
進する地域づくりの課題と主観的・客観的意義. 日本
学術振興会科学研究補助金 基盤研究 (B),
19H01588, 2020.

【シンポジウム】

- 1) 米澤大輔, 筒井昭仁, 八木 稔: フッ化物応用による
歯のフッ素症の評価-とくに 6 歳未満における局所応
用の考え方-. 第 69 回日本口腔衛生学会・総会 ミニ
シンポジウム, 2020 年 4 月 24 日、同学術集会プログ
ラム・予稿集, 2020.

- 2) 葭原明弘: お口の健康からみたサルコペニアおよび
フレイル対策, 第 7 回日本サルコペニアフレイル学会
大会, 11 月 15 日, 東京都健康長寿医療センター, 2020.

【学会発表】

- 1) Hoshino T, Kaneko N, Yoshihara A, Ogawa H: Relationship
between Antibody Level to Porphyromonas gingivalis and
Atrial Fibrillation, IADR, 2020
- 2) 柴田佐都子, 米澤大輔, 諏訪間加奈, 小田島あ
ゆ子: 歯科衛生士教育における臨床技能評価ー
ルーブリックを活用したパフォーマンス評価ー.
第 11 回日本歯科衛生教育学会総会・学術大会,
Web 開催, 2020 年 12 月 18 日~28 日, 日本歯科
衛生教育学会雑誌 11(2): 153 頁, 2020.
- 3) 諏訪間加奈, 野上有紀子, 葭原明弘: 小児の口唇
閉鎖力と口腔内を含む関連要因の研究 - 口唇
閉鎖習慣と姿勢 -. 第 58 回日本小児歯科学会大
会, 沖縄, 2020 年 5 月 21-22 日, 小児歯科学会誌 58:
95 頁, 2020.
- 4) 宮本茜, 葭原明弘, 皆川久美子, 金子昇, 濃野要, 市
川優, 星野剛志, 藤山友紀, 平野真弓, 小川祐司: 乳
歯における癒合歯および形成不全とその原因につ
いての臨床的考察, 第 69 回, 日本口腔衛生学会・総会,
口腔衛生学会誌 70:106, 2020 年 4 月 24 日~4 月 26 日,
2020.
- 5) 諏訪間加奈, 野上有紀子, 葭原明弘: 小児の口唇閉鎖
力と口腔内を含む関連要因の研究 - 口唇閉鎖習慣
と姿勢 -, 第 58 回, 日本小児歯科学会大会, 2020 年
5 月 21 日~5 月 22 日, 沖縄コンベンションセンター,
2020.
- 6) 高見澤圭, 杉田典子, 葭原明弘, 小林哲夫, 吉江弘
正, 多部田康一: 抗 Porphyromonas gingivalis IgG 血清
抗体価と肝機能マーカー値および肥満との関連性ー
サドコホートにおける横断研究ー令和 2 年度新潟歯
学会総会および新潟歯学会第 1 回例会. 新潟市, 2020
年 7 月 4 日, 新潟大学歯学部, 2020.
- 7) 皆川久美子, 葭原明弘, 諏訪間加奈, 小川祐司: 腎機
能と歯の本数との関連, 甲信越北陸口腔保健研究会,
第 31 回総会・学術大会, 2020 年 11 月 1 日, 弥彦村,
2020.
- 8) 増澤美有, 葭原明弘: 70 歳地域在住高齢者口腔保健
に関する信念および行動が歯の喪失に及ぼす影響, 第
31 回総会・学術大会, 2020 年 11 月 1 日, 弥彦村,
2020.
- 9) 小野和宏, 松下佳代, 斎藤有吾: 専門教育で身に付
けた問題解決能力は汎用的でありえるか. 大学教育
学会第 42 回大会, オンライン開催, 2020 年 6 月 6-7 日,
同発表要旨集録: 108-109 頁, 2020.
- 10) 樋口健, 斎藤有吾, 小野和宏, 濱口哲: 新潟大学に
おける学位プログラムのガバナンス. 大学教育学会
第 42 回大会, オンライン開催, 2020 年 6 月 6-7 日,

同発表要旨集録: 280-281 頁, 2020.

- 11) 結城龍太郎, 児玉泰光, Andrea Rei Estacio Salazar, 大湊麗, 永井孝宏, 山田茜, 小林亮太, 市川佳弥, 丹原惇, 加藤純也, 朝日藤寿一, 飯田明彦, 小野和宏, 齋藤功, 高木律男: 異なる二段階公害形成手術法を施行した片側性唇顎口蓋裂患児の 5-Year-Olds' Index による咬合評価. 第 44 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 名古屋市 (ウイングあいち), 2020 年 6 月 4-5 日, 日本口蓋裂学会雑誌 (抄録号) 45(2): 128 頁, 2020.
- 12) 大湊麗, 小野和宏, 児玉泰光, 結城龍太郎, Andrea Rei Estacio Salazar, 山田茜, 小林亮太, 永井孝宏, 飯田明彦, 永田昌毅, 高木律男: Hotz 床併用二段階口蓋形成手術法における口蓋化構音の発現要因の検討: 軟口蓋形成術前の広報裂幅比との関連. 第 44 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 名古屋市 (ウイングあいち), 2020 年 6 月 4-5 日, 日本口蓋裂学会雑誌 (抄録号) 45(2): 181 頁, 2020.
- 13) 池田順行, 小野和宏, 阿部裕子, 西山秀昌, 齋藤功, 高木律男: 外科的矯正治療を行った静脈奇形を伴う顎変形症の 1 例. 第 30 回日本顎変形症学会総会・学術大会, ウェビナー開催, 2020 年 6 月 2 日~7 月 9 日, 日本顎変形症学会雑誌 (プログラム・抄録号): 137 頁, 2020.
- 14) 枝並直樹, イブンベラル ラジサイフラー, 白柏麻里, 吉羽邦彦, 大倉直人, 吉羽永子, 遠間愛子, 竹内亮祐, 野杵由一郎: 各種バイオセラミック系覆髄材のアパタイト析出能に関する研究. 日本歯科保存学会 2020 年度春季学術大会(第 152 回), 2020 年 6 月 11-12 日 (Web 開催), プログラムおよび講演抄録集 152 回: 97 頁, 2020.
- 15) ブンベラル ラジサイフラー, 枝並直樹, 白柏麻里, 吉羽邦彦, 大倉直人, 吉羽永子, 遠間愛子, 竹内亮祐, 野杵由一郎: in vitro・in vivo における各種バイオセラミック系シーラーのアパタイト析出能に関する研究. 日本歯科保存学会 2020 年度春季学術大会(第 152 回), 2020 年 6 月 11-12 日 (Web 開催), プログラムおよび講演抄録集 152 回: 46 頁, 2020.
- 16) Salazar A, Kodama Y, Yuki R, Ominato R, Nagai T, Watanabe M, Yamada A, Ichikawa K, Nihara J, Iida A, Ono K, Saito I, Takagi R: Occlusal evaluation using Modified Huddart and Bodenham scoring system following two-stage palatoplasty with Hotz plate: The comparison between three different timing of hard palate closure surgery. 令和 2 年度第 53 回新潟歯学会総会ならびに第 1 回例会, 新潟市, 2020 年 7 月 4 日, 新潟歯学会雑誌 50(2), 103-104, 2020.
- 17) 山崎 恭子, 佐藤 圭祐, 都野 隆博, 山崎 和久. Germ-free 環境における歯周病原細菌群と口腔共生細菌群経口投与が全身に与える影響の比較. 第 63 回春季日本歯周病学会学術大会, 郡山, 2020 年 5 月 29 日, 2020
- 18) 松岸 葵, 野中 由香莉, 竹内 麻衣, 原 実生, 早津 学, 三上 剛和, 牛木 辰男, 土門 久哲, 山崎 和久, 多部田 康一. コメペプチドとそのアミノ

酸置換体は *Porphyromonas gingivalis*, *Fusobacterium nucleatum* のバイオフィルム形成を阻害する. 第 63 回春季日本歯周病学会学術大会, 郡山, 2020 年 5 月 30 日, 2020.

- 19) 山崎恭子, 中島貴子, 宮沢春菜, 伊藤晴江, 佐藤圭祐, 原 実生, 竹内麻衣, 高橋直紀, 森田英利, 須田 互, 服部正平, 山崎和久. 歯周炎患者における腸内細菌叢の解析. 第 23 回腸内細菌学会, 東京, 2020 年 6 月 18 日, 2020.
- 20) 松岸 葵, 野中由香莉, 竹内麻衣, 原 実生, 土門久哲, 寺尾 豊, 山崎和久, 多部田康一: コメ由来ペプチドのアミノ酸置換体による歯周病原細菌のバイオフィルム阻害作用の解析. 令和 2 年度新潟歯学会総会, 新潟, 2020 年 7 月 4 日, 2020.
- 21) 山崎恭子, 佐藤圭祐, 都野隆博, 山崎和久: Germ-free マウスにおける歯周病原細菌群および口腔共生細菌群経口投与による全身への影響の解析. 令和 2 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2020 年 7 月 4 日, 2020.
- 22) 山崎恭子, 中島麻由佳, 竹内麻衣, 原 実生, 都野隆博, 松岸 葵, 松川由実, 佐藤圭祐, 高橋直紀, 多部田康一, 山崎和久. *Porphyromonas gingivalis* 経口投与は「腸内細菌の変化を介して NAFLD 病態に影響を与える. 令和 2 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2020 年 11 月 7 日, 2020.

【受賞】

- 1) 米澤大輔: 障害者の地域生活を支える 24 時間相談支援の生成プロセスに関する研究, 奨励賞, 日本社会福祉学会 関東地域部会

【その他】

- 1) 研修会講師: 中村健, with コロナ時代の生活支援を公的扶助から考える, 公益社団法人新潟県社会福祉士会主催, オンライン, 2020
- 2) 講座講師: 中村健, 村上市市民後見人養成講座 成年後見を取り巻く関係諸制度の基礎, 社会福祉法人村上市社会福祉協議会主催, 村上市, 2020
- 3) 研修会講師: 中村健, 生活保護の基礎知識, 新潟市民生委員児童委員協議会連合会主催, 新潟市, 2020
- 4) 会議講師及びファシリテーター: 中村健, 身寄りがいない方への支援, 新潟市地域包括支援センター小新・小針主催圏域地域ケア会議, 新潟市, 2020
- 5) 研修会講師: 中村健, 生活保護について学ぶための研修会, 一般社団法人新潟県介護支援専門員協会主催, 三条市, 2020
- 6) 研修会講師: 中村健, 誰でもわかる生活保護, 新潟県弁護士会主催, 新潟市, 2020
- 7) 研修会講師: 中村健, 生活保護及び生活困窮者への支援について, 新潟市秋葉区介護支援専門員連絡部会主催, 新潟市, 2020
- 8) 山崎和久: ロ-腸連関から考える歯周病と全身疾患.

- 第 10 回かかりつけ医のための勉強会. 鈴鹿 (オンライン), 令和 2 年 9 月 16 日, 2020.
- 9) 山崎和久: 口 - 腸連関から考える歯周病と全身の関係. シンポジウム I 口腔-腸管軸と全身の健康 第 63 回秋季日本歯周病学会学術大会. Web 開催, 2020 年 10 月 16 日. 第 62 巻秋季特別号 56 頁, 2020.
 - 10) 山崎和久: 歯周病と糖尿病および関連疾患の関係. 第 11 回静岡県糖尿病治療 Update 研究会. 静岡 (オンライン), 令和 2 年 11 月 5 日, 2020.
 - 11) Yamazaki K. Oral-gut microbiome axis and its role in the periodontal and systemic interrelationship. ELC20-NCE15: CVD, Inflammatory Diseases, and Periodontitis. 106th Annual meeting AAP. November 6-15, 2020.
 - 12) 山崎和久: 教育講演 II 歯周病はどのようにして全身の健康を脅かすのか? 第 11 回日本歯科衛生教育学会学術大会. 千葉 (オンライン), 令和 2 年 12 月 18 日-12 月 28 日, 2020.
 - 13) 山崎和久: 特別講演 歯周病が全身及ぼす悪影響—新たなメカニズム—第 20 回日本口腔ケア協会学術大会 (オンライン). 2021 年 2 月 27 日, 2020.

歯科臨床教育学／歯科総合診療部

【論文】

- 1) Yoshihara A, Suwama K, Miyamoto A, Watanabe R, Ogawa H: The relationship between sucrose intake in coffee or tea, and root or coronal caries in an elderly Japanese population. Community Dent Health, in press, 2020.
- 2) Yoshihara A, Kaneko N, Miyamoto A, Nohno K : Interaction between and impact of IL-6 genotype and alpha-tocopherol levels on periodontal condition in aging individuals. J Periodontal Res. 2021 Jan;56(1):139-146. doi: 10.1111/jre.12802. Epub 2020 Sep 20.
- 3) 野村みずき, 佐藤拓実, 中村太, 原さやか, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 長谷川真奈, 藤井規孝: 下顎全部床義歯調整の新たな教育方法開発に関する検討. 日本歯科医学教育学会雑誌 36(2): 63-70, 2020.
- 4) 佐藤拓実, 中村太, 林豊彦, 奥村暢旦, 藤井規孝: 光学式モーションキャプチャ・システムによる人工歯切削動作の定量的解析. 日本歯科医学教育学会雑誌 36(2): 71-80, 2020.
- 5) 奥村暢旦, 荒井良明, 河村篤志, 長谷川真奈, 小松万記, 原さやか, 高木律男, 藤井規孝: 下顎頭部腫瘍切除後に生じた開口症例に対し行った補綴治療. 日本補綴歯科学会雑誌 12(4): 1-7, 2020.
- 6) 原さやか, 佐藤拓実, 中村太, 野村みずき, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 長谷川真奈, 藤

井規孝. 研修歯科医の身体的特徴が歯科治療時の力のコントロールに与える影響. 日本総合歯科学会雑誌 12(1): 19-25, 2020.

- 7) 中村太, 佐藤拓実, 原さやか, 野村みずき, 奥村暢旦, 藤井規孝. 光学式モーションキャプチャ・システムを用いた浸潤麻酔および印象採得動作の定量的解析. 日本総合歯科学会雑誌 12(1): 27-34, 2020.
- 8) 小海由佳, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 長谷川真奈, 藤井規孝. 口腔機能低下症と診断された義歯不適患者に対して口腔機能管理を行った症例. 日本総合歯科学会雑誌 12(1): 44-50, 2020.
- 9) 金岡沙季, 伊藤晴江, 塩見晶, 石崎裕子, 奥村暢旦, 長谷川真奈, 藤井規孝. 高度な顎堤吸収を伴う上下無歯顎患者の機能回復を図った一例. 日本総合歯科学会雑誌 12(1): 51-56, 2020.

【研究費獲得】

- 1) 中村太: モーションキャプチャ・システムを用いた歯科診療動作の定量的解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 20K18802, 2020.
- 2) 藤井規孝, 奥村暢旦: 経験による学修過程の可視化と共有—プロフェッショナルへの近道. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 19K03053, 2019. (継続)
- 3) 伊藤晴江, 藤井規孝: 歯科治療に有効なポジショニング習得のための効果的動画ツールの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 19K10441, 2019. (継続)
- 4) 長谷川真奈: アロマセラピーによるストレス誘発性咬筋痛改善の脳神経メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 18K17164, 2018. (継続)

【学会発表】

- 1) 長谷川真奈, 大竹正紀, 上村藍太郎, 齋藤功, 藤井規孝, 山村健介, 岡本圭一郎. トレッドミル走は心理社会的ストレス誘発性の咬筋の痛覚過敏を軽減する. 第 98 回日本生理学会大会 (web 開催), 2021 年 3 月 28-30 日.
- 2) 長谷川真奈, 岡本圭一郎. トレッドミル走は社会的敗北ストレスが引き起こす咬筋痛を軽減する. 第 25 回日本口腔顔面痛学会学術大会 (Web 開催), 2020 年 11 月 21-23 日.
- 3) 板離子, 石崎裕子, 佐藤拓実, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 長谷川真奈, 中村太, 藤井規孝. 長期に渡り治療中の歯が複数存在する患者のこれまでの治療経過を考察する. 第 13 回日本総合歯科学会学術大会 (web 開催), 2020 年 10 月 31 日-11 月 1 日.